

簡易取扱説明書 LD-3K2

■各部の名称



- ①液晶ディスプレイ
- ②電源スイッチ
- ③質量濃度スイッチ
- ④時間設定スイッチ
- ⑤開始/停止スイッチ
- ⑥採気口各部の名称

- ⑦測定/感度合せ切替えノブ
- ⑧排気口
- ⑨USB/RS-232C出力 (LD-3B,LD-3K2型のみ)
- ⑩パルス出力・電圧出力
- ⑪外部電源コネクター各部の名称

1. 【BG (バックグラウンド) 測定]

※下記手順の 1~2 を実行してから電源を入れてください。

「MEASURE」
に合わせる



1.

⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」が MEASURE (メジャー) の位置にあることを確認します。

※SENSI ADJになっている場合、ノブを引出し、左に回してMEASUREの位置にします。

2.

⑥の「採気口」のカバーが閉じられていることを確認します。

開いている場合はカバーを上げて閉じます。





2. 【感度合わせ (スパンチェック)】



3. 電源を入れて1分待ちます。
(内部を清浄にするためです)

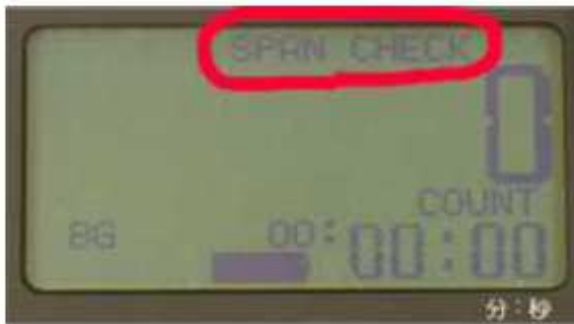
4. ④の「時間設定スイッチ」を押し、BGを表示させます。
(数回押していくとBGと表示されます)



5. ⑤の「開始/停止スイッチ」を押し、6秒待ちます。
6秒後に自動的にバックグラウンド測定が終了します。



1. ⑥の「採気口」のカバーが閉じていることを確認します。(スライドして上げます)



3. 【測定】



2.
⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」を時計方向に回し、SENSIADJ（センシアジャスト）の位置で押し込みます。

3.
ディスプレイにSPAN CHECK（スパンチェック）と表示していることを確認します。

4.
⑤の「開始/停止スイッチ」を押し1分待ちます。
（測定中は表示の数値が増えていきます）

5.
※1分後、数値が粉じん計固有のS値（標準散乱板値）、またはその近辺の値で止まり、計測が終了します。
※感度合わせとは、この計測で値をS値に合わせることを意味しますが、ズレの補正は測定器自身が行いますので、計測後、手動で値を合わせ込む必要はありません。

1.
⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」を引き出し、左（反時計）方向に回してMEASURE（メジャー）の位置にします。



～1分後測定終了～

粉じん計の測定値はcpm（1分当たりのカウント値）で表すことになっておりますので、表示された値を測定時間で割ってcpm単位に直します。

※1分測定で42countと出た場合は42cpmという結果になります。この値に質量濃度換算係数K値を掛けると粉じん濃度をmg/m³の単位に変換できます。

事前にK値を測定器に入力しておいて測定後③質量濃度スイッチを押すとmg/m³の単位で結果を表示できます。

2.
⑥の「採気口」のカバーを開きます。
(スライドさせ下げます)

3.
④「時間設定スイッチ」を数回押して測定時間（例えば1分）を設定します。
※測定時間を1分にする場合、ディスプレイ表示を「BG」から「01min.」にします。



4.
⑤の「開始/停止スイッチ」を押します。



5.

